

## 会 議 録

会議名	令和4年度 第2回 大野北地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512		
開催日時	令和4年6月28日(火) 18時30分~20時00分		
開催場所	大野北公民館 大会議室		
出席者	委員	23人 (別紙のとおり)	
	その他	9人 都市計画課長、生涯学習課長、公園課長、公民館館長代理 他5名	
	事務局	2人 まちづくりセンター所長、同主査	
公開の可否	可	不可	一部不可
			傍聴者数
			1人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」 について、進捗状況の報告</p> <p>(2) 地域活性化事業交付金の申請について</p> <p>(3) 地区課題の共有について</p> <p>(4) 地区課題の取組方針の検討について</p> <p>3 出席委員からの情報提供</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 次回日程について</p> <p>5 閉 会</p>		

## 審 議 経 過

### 1 あいさつ

山口会長よりあいさつ（以後進行は山口会長）

### 2 議 題

（○は委員、 は事務局の発言）

（１）「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」について、進捗状況の報告。

生涯学習課から、「次世代ふちのベニユース」Vol. 16に基づき第16回から第18回までの検討結果が説明され、第19回の検討結果は、各WGの担当より説明がされた。

#### ・公共施設WG（生涯学習課）

2つのグループに分かれて、スペースの有効活用や相乗効果を生み出すための、機能の組み合わせや配置について検討した。

##### < Aグループ >

公共施設には目的のある人も目的のない人も来る。

お互いの活動が見えることにより、新たな繋がりや目的が生まれてくることで、公共施設の新たな利用の仕方が広がるのではないかと。そのようなつながりができる部屋の配置や、作り方ができないかという意見が出された。

##### < Bグループ >

施設全体としてはにぎやかな場所にし、逆に静かな部屋は別できちんと確保する。

また、誰もが集えるロビー、多目的に使える会議室を作ってはどうかという意見が出された。

2つのグループに共通して、繋がりを意識したような意見が多かった。

#### ・まちづくりWG（都市計画課）

第18回の際に駅南口から鹿沼公園へ向かう動線について、様々な立場の方（人や自転車、車など）の流れを想定し、まちなかで課題がある場所や、駅周辺に必要な機能・空間などを議論し、「検討が必要な場所」をマップに落とし込んだ。

第19回では「検討が必要な場所」を深掘りし、「どうしていききたいか」「どうやって取り組むか」など、職員と一緒に実現の可能性を考えながら検討を行った。

具体的には、6つの検討すべき共通テーマがあり、

駅から公園までの効果的なアプローチを考えるに当たり、ロータリー、自転車駐車場のエリアを含め、どう考えていくか。

駅から公園までの視認性の確保やアクセスの利便性を高めるため、どんな方法、工夫ができるのか。

自転車駐車場に向かうための2本のアクセス道路は、歩行者、自転車、自動車が

混在するが、現在の交通の仕組みの中で、どんな検討ができるのか。  
公園用地を活用して、公園外周に歩行者が通れる通路などが必要かどうか。  
新たな施設の設置場所にもよるが、公園の出入口の位置をどう考えるか。  
駅から公園までの「まちの景観」など。

について議論を行った。

この他、自転車駐車を現地建替える際の、まちづくりセンター・公民館跡地の活用や、公園の正面出入口の、既存の位置を尊重するための図書館敷地の活用など、アイデアや工夫に特化した意見があった。

#### ・公園 WG (公園課)

検討委員会として、新たにつくる複合施設の設置エリア案を検討し、4つの案を作成した。

現在の野球場の場所。池や交通公園といった既存の施設の変更が小規模で済む。  
図書館敷地と隣接した場所。図書館敷地と通路等をつなげることで土地利用がしやすくなる。

白鳥池、築山を望める場所。公園内の眺望が良い。

駅から正面の場所。「アイストップ」として、目立つ建物があると、そこに何かあるのかと期待をもたせる効果がある。

○直接説明を聞いてよかった。今年いっぱいであろうとしている気持ちを感じられた。いい結果がでるのではないかと思えた。ようやくまとまりそうな感じをもてた。

オープンハウスを実施する際には、想定している再整備を分かりやすく、答えやすい資料提供をお願いしたい。

実施場所は、駅前、公園、公民館などを想定。内容についてはわかりやすいものとなるよう市民検討会の委員と一緒に考えていきたい。

○国際交流ラウンジも含めた再整備となりますか？

国際交流ラウンジも含めた再整備を検討している。

○ボランティアとして公園の清掃をしている、再整備後の公園でもお手伝いしたい。基本計画から完了までスピードアップしていただきたい。

財源の確保はできているのか？

可能なかぎり早く着実に進めていきたいと考えている。

財源は、公共施設の跡地の売却や貸付け、起債などを見込んでいる。

○学区内に大きな公園がない。公園整備に子どもたちの意見を取り入れてもらいたい。

遊具選定の際には、利用者の方からご意見をいただいた事例もある。夏以降にオープンハウスの実施を予定しているので、その際に意見をいただけたらと思う。

○図書館が市の中央図書館、近隣公園となるなか、市全体として検討している部分がある。施設統合の話はもともと大野北地区をどうしたら良くなるか、といったところからのものであるので、地域としての課題もある。

図書館は市全体で利用されるもので、市全体の意見を聴く必要も理解するが、一方、地域の財産でもあるので、ある程度、検討委員会の意見がまとまったところで、地区の課題と整合性を図れたらよいのではと感じる。

整合性を図りながら地域全体として納得していただけるものとしたい。

○まちづくりを考えると、全体的なイメージが必要と考える。

複合施設にしる、建物を建てるにしる、イメージが大事。

淵野辺のイメージづくりによって、人口増が図られると思う。

神奈川で人口が増加している市町村には良いイメージの施設があることが影響して

いると思う。

藤沢市では、最近は、設備、建物、市全体で考えて駅前を素晴らしくした結果、人口が増加した。

ほかに、人口が増加している市町村は、財源がない中で、工夫をして、上手に民間と連携したりして、それぞれ素晴らしい施設をつくり、人口が増加している。

人口が減っている市町村は、なるほどな～と感じをうける。

駅を降りてもなんにしても、そのようなイメージを持ってしまう。イメージは大事。

淵野辺駅に降りたときに素晴らしいイメージにしようと、淵野辺には JAXA の大きな看板を作り替えたり、加えて駅の外へ出てからも良いイメージにする必要を考える。

財源は、探せば、あるところにはあるはず。

国から補助金をもらうには、ネーミングが大事。

図書館作ります では駄目。こういう、○○○な、ほかにはない図書館を作ります。といったネーミングが大事。

大野北地区を、素晴らしいイメージのまちにしてほしい。子どもから大人まで。よろしく願いしたい。

## ( 2 ) 地域活性化事業交付金の申請について

申請事業個票に基づき申請団体より事業の説明がされ、まちづくり会議として地域活性化事業交付金の対象として承認された。

## ( 3 ) 地区課題の共有について

資料に基づき事務局、飯田幹事より説明がされた。  
特に質問なし。

## ( 4 ) 地区課題の取組方針の検討について

資料に基づき事務局より説明がされた。

○イベントリストにはないが、国際交流ラウンジでも10月2日にフェスティバルを実施する予定。

○既存のイベントに世代間交流の要素を取り込んで盛り上げる様なイメージで、新規でイベントを考えるわけではないことか？

まずは、既存のイベントのなかで世代間交流がどのように行われているか、どのような工夫ができそうかを分析していただきたい。

○市外のイベントも参考にしてみないか？

市外のイベントも機会があれば参加していただいて体験していただきたい。

○淵野辺小学校の6年生に銀河まつりの概要を説明してきた。

今回、祭りでは何か一緒にできないかを校長先生はじめ生徒と話し合っている。

### 3 出席委員からの情報提供

国際交流ラウンジより、8月6日(土)国際理解講座～紛争地から伝えたいこと～を開催する事が紹介された。

麻布大学より、7月13日(水)シニアが摂るべき食事とは を開催することが紹介された。

桜美林大学より、町田・相模原 わがまち タウンマップ が配布された。  
このマップは中学校3年生が総合学習で作成したもので、内容は二か国語の表記となっている。

大野北公民館より、令和4年7月に創立70周年を迎えた。前回は創立50周年で記念誌をつくったので、それ以降の20年間についての記念誌をつくることとなったため記念誌に掲載する写真や記事があれば提供いただきたい。

記念誌を多く購入していただくと学校へ教材として沢山提供できるので、ご協力をお願いしたい。

### 4 その他

#### (1) 次回日程について

今回は、令和4年7月26日(火)午後6時30分から開催予定である旨を事務局から報告した。

### 6 閉会

小川副会長が閉会

以上

令和4年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	出
6	小川 紳夫	大野北公民館	出
7	田加井 政男	交通安全協会	出
8	長谷川 文代	大野北地区交通安全守る会	出
9	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	出
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	出
11	佐久田 ロサマリア	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	出
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	欠
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	出
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	欠
15	岡部 尚紀	小学校	出
16	古屋 礼史	中学校	出
17	安部 智	小・中学校PTA	出
18	三條 久美子	青山学院大学	出
19	山岸 優之	桜美林学園	出
20	白石 一郎	麻布大学	出
21	宮津 敏信	ボランティアグループ	出
22	伊藤 憲秀	大野北第1地域包括支援センター	出
23	加瀬 剛広	大野北第2地域包括支援センター	出
24	森光 雄一郎	にこにこ星ふちのべ商店会	出
25	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	欠
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	出

# 令和4年度 第2回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和4年6月28日(火)  
午後6時30分から  
場 所 大野北公民館 1階 大会議室

## 次 第

### 1 あいさつ

### 2 議 題

- (1) 「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」について、進捗状況の報告
- (2) 地域活性化事業交付金の申請について
- (3) 地区課題の共有について
- (4) 地区課題の取組方針の検討について

### 3 出席委員からの情報提供

### 4 その他

- (1) 次回日程について

日 時 令和4年7月26日(火) 午後6時30分から  
場 所 大野北公民館 大会議

以 上

# 令和4年度 大野北地区まちづくり会議委員及び役員

令和4年6月28日現在

## 1 委員(大野北地区まちづくり会議会則 第4条別表第1)

	氏名	所属団体等の名称	役職名
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	会長
		大野北地区社会福祉協議会	会長
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	副会長
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	副会長
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	会長
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	会計
6	小川 紳夫	大野北公民館	館長
7	田加井 政男	交通安全協会	理事
8	長谷川 文代	大野北地区交通安全守る会	副会長
9	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	会長
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	分団長
11	佐久田 ロサマリア	さがみはら国際交流ラウンジ	副代表
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	会長
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	地区長
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	委員
15	岡部 尚紀	小学校	淵野辺東小学校
16	古屋 礼史	中学校	大野北中学校
17	安部 智	小・中学校PTA	淵野辺東小校PTA
18	三條 久美子	青山学院大学	相模原事務部 庶務課長
19	山岸 優之	桜美林学園	事業開発部 地域・社会連携課長
20	白石 一郎	麻布大学	事務局 総務部 渉外課長
21	宮津 敏信	ボランティアグループ	ボランティアおおのきた代表
22	伊藤 憲秀	大野北第1地域包括支援センター	センター長
23	加瀬 剛広	大野北第2地域包括支援センター	センター長
24	森光 雄一郎	にこにこ星ふちのべ商店会	会長
25	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	役員
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	支店長

## 2 役員(同会則 第6条別表第2)

役職	所属団体等の名称	氏名
会長	大野北地区自治会連合会会長 大野北地区社会福祉協議会会長	山口 信郎
副会長	大野北地区民生委員児童委員協議会会長	脇山 寿満子
副会長	大野北公民館館長	小川 紳夫
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	飯田 秀雄
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	林 知治





## 前市民検討会委員の想いをつなぎ、 新たなメンバーで具体的な検討を始めました！

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」について、今年度も引き続き皆さまに検討状況をお知らせいたします。



### 第16回市民検討会を3月27日(日)に開催しました！

昨年12月末に市民検討会委員の任期が満了し、市民検討会委員の交代等があったため、市民検討会の位置付けやこれまでの検討状況について、事務局から説明しました。また、令和4年度の進め方を確認しました。

<令和4年度の進め方>

今年度末に基本計画を策定することを目標に、複合施設内の機能の組合せ、公園リニューアルの内容、公共施設跡地に係る利活用方策等の検討を進めていきます。また、夏以降にオープンハウスを実施し、市民検討会で検討したアイデアについて、広く市民の方のご意見をお聴きする予定です。詳細が決まり次第、市ホームページ等でお知らせいたします。

### 第17回市民検討会を4月24日(日)に開催しました！

各WGでグループワークを行った後、全体会で内容を共有しました。

	公園 WG	公共施設 WG	まちづくり WG
前半	<p>一体的に利用するエリア（鹿沼公園と図書館敷地）の中で<b>新たな施設を設置できそうな場所には青色の付箋を、設置が難しそうな場所には赤色の付箋を貼り</b>、検討しました。</p> <p>全体傾向としては、駅との距離等から、一体的に利用するエリアの北側に設置できそうとする意見が比較的多く出ました。</p>		<p>淵野辺駅周辺がどのような場所になってほしいか、コンセプトを考えました。</p>
後半	<p>鹿沼公園がどのような場所になってほしいか、都市公園の機能や効果から鹿沼公園のイメージを考え、5つの視点（残したい機能や施設、多世代交流施設、バリアフリーの視点、運動・遊べる空間、全天候で利用できる休憩施設）で意見が集約されました。</p>	<p>新たな施設がどのような場所になってほしいか、主に4つの視点（利便性、生活環境、多世代交流、個性・特色）からコンセプトを考えました。</p> <p>「全世代間交流」、「集える場所」、「となりの居場所」など『つながる』に関連したワードが多く出されました。</p>	<p>コンセプトにつながるような素材がたくさん出ました。</p> <p>大きなキーワードとしては「ゆるやかなつながり」。幅広くつながりを持っているというイメージです。</p>

## 第18回市民検討会を5月29日(日)に開催しました!

### まちづくりWG

「まちなかの動線を考える」をテーマに「駅南口から鹿沼公園・新たな施設への動線」を中心に検討し、その上で「駅周辺に必要な機能や空間」も検討しました。

WGで出た意見を踏まえて全員でデザインマップを作成し、検討の余地がある場所を確認しました。



### 公園WG



鹿沼公園の「強み」(青色の付箋)や「弱み」(赤色の付箋)を分析しヒートマップを作成しました。主な意見は以下の通りです。

- ・交通公園は信号等があり、小さな子どもが交通ルールを学べる。
- ・駅前なのに自然が多い。
- ・公園施設が老朽化している。
- ・休憩スペースが少ない。屋根があるスペースが欲しい。
- ・子どもから大人まで、多世代が楽しめる公園にしたい。

### 公共施設WG

新たな施設でどのような活動をしたい(してもらいたい)のか、また、そのために必要な場所やサービスについて、AとBの2グループに分かれて検討しました。

Aグループでは、「あらゆる世代の方々が交流する」という視点からの意見が出されました。Bグループでは「子育て」や「ゆっくり過ごす」場所がほしいという意見が多く出ました。



## 有識者協議会の先生方からコメントをいただきました。

### 第17回市民検討会

鹿沼公園は、できた当初は最新鋭だったが、ニーズは変化してきている。「誰が、どう使う」を想定するのかということまでふみ込んで議論できれば良い公園づくりにもつながる。

今ある環境をどうポジティブに使うことができるのか。どう使いたいのか。部屋の名前に縛られずに、どのような環境を目指したいのかを考えていった方が良いのではないかと思う。

「ゆるやかなつながり」というキーワードはとても良い。同じ空間でなんとなく活動の内容が見えるような距離感。コミュニティや交流というところごく強く結びつかなければというイメージだが、この言葉に置き換えられたのはとても良かった。

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」に関する情報は、市ホームページでご覧頂けます。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/machitsukuri/1015393/index.html>



次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関するお問い合わせ・ご意見は...

【公園について】 公園課 (電話: 042-769-8243)

【まちづくりについて】 都市計画課 (電話: 042-769-8247)

【公共施設について】 生涯学習課 (電話: 042-769-8287)

E-mail: jisedai-fuchinobe@city.sagamihara.kanagawa.jp

市民検討会で出された意見の詳細は、市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください



令和4年度地域活性化事業交付金 申請事業個票 【大野北地区】 1

事業名	望遠鏡で宇宙を覗いてみよう		新規 継続 ( )
申請団体名	大野北&淵野辺をこよなく愛する会	代表者名	森光 雄一郎
申請団体について	淵野辺を愛し、淵野辺の活性化の一助になればと、商店主、元PTA役員、青少年指導委員など多岐にわたるメンバーで構成		
事業の背景	<p>大野北地区には複数の大学が立地しているとともにJAXA相模原キャンパスもある。また市立図書館、鹿沼公園など公共施設も多く、市内でも文化的な色合いが濃いことに加え、今までも「銀河」、「宇宙」をキーワードとしてまちづくりが進められてきた地区である。</p> <p>淵野辺駅周辺の商店街についても、市の4地区中心商業地の一つとして、『銀河をかけるまち 淵野辺』をテーマに、まちづくりが行われ、商店街路も星座の名称がつけられている。</p> <p>このため、地域の活性化を図る取り組みにおいて、宇宙を身近に感じてもらえる事業を行うことは、大野北地区の特性を踏まえた地域活性化事業の一環と考える。</p>		
事業の目的	<p>星の観望をしながら「宇宙」についての講話を聞いて、宇宙銀河の音楽を聴くことで、大野北地区の特色である宇宙や銀河を身近に感じてもらい、地域愛の醸成を図るとともに、子どもたちにはJAXAや宇宙への興味や関心を持ってもらうことで、将来の宇宙飛行士や宇宙プロジェクトへの参画を目指す大きな夢や希望を膨らます機会とする。</p> <p>また事業をとおして、「宇宙」を繋がりとして住民同士の交流を促進し地域の活性化を図る。</p>		
事業内容	<p>(全3回)</p> <p>第1回 実施日：令和4年8月6日(土) (夏の星空観望) 18:30~ 「宇宙科学研究所 宇宙科学広報」大川拓也氏による講話と星の観望 19:20~ 『川崎純情小町』による星に願いを等、宇宙銀河の楽曲演奏</p> <p>第2回 10月頃 予定 (秋の星空観望)</p> <p>第3回 2月頃 予定 (冬の星空観望)</p>		
総事業費	630,000円	申請額	630,000円
対象経費	費目	金額	説明
	謝礼	120,000円	川崎純情小町出演料、講師謝礼
	賃借料	440,000円	音響設備、ステージ賃借料、望遠鏡 検温器、消毒液スタンド
	印刷製本費	50,000円	チラシ作成費
	諸経費	20,000円	通信費、消耗品等
事説補 項明足			
審査基準	審査項目	審査の視点	
	事業目的や内容の公共	地域課題の解決や地域の活性化に資する事業か	
	事業内容の妥当性	事業内容が現実性のあるものか	
		事業計画のスキームが適切か	
		事業収支が事業を遂行する上で適正か	
	団体の事業実施能力	事業を実施する能力や主体性があるか	
	事業の継続性や発展性	事業の継続性や発展性があるか	
		これまでの取組みの成果が生かされているか	
他の団体への影響	他の団体へ活動を促すなど、良い波及効果を与えるような事業か		
継続効果(1)	継続することで、さらに地域の活性化につながる成果が得られるか		
継続効果(2)	3年間では、目的が未達成だが、継続することで達成できるか		
2分の1を越えた交付率の適用	まちづくり会議において、地域課題として議論がされているか		
結果	積極的採用	採用すべき	要調整

## B 班ワーキングまとめシート

目的	住みやすい、住み続けたいと実感できる大野北地区
あるべき姿	世代間交流で地域が活性化している状態 ～新たな世代間交流を季節ごとに開催する～
現状	世代間交流の範囲が明確でないこと及びコロナ禍によりイベントや交流事業の多くが中止となっているため、妥当な現状値を測定することができなかった。
課題 (問題を解決するために実行すること)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 企画段階で担い手の年齢層を広げる。 小・中学生や大学生に運営に参加してもらう。 若年層が参加しやすい時間帯や形態で運営する。</li> <li>2 日頃から地域のイベントに若年層が参加できるように工夫する。 イベントに若年層を招く(地区対抗〇〇など)戸塚区の運動会参照 地域の会議に小中学生を参加させ、地域を知るきっかけにする。</li> <li>3 交流の目的を明確にして広報を図る。</li> <li>4 参加者にお土産(参加賞)を用意する。</li> </ol>
メンバー(敬称略)	<p>飯田 秀雄：大野北地区自治会連合会</p> <p>高橋 美保：青少年指導委員大野北地区協議会</p> <p>村田 明夫：スポーツ推進委員大野北地区協議会</p> <p>平野 知彦：大野北中学校</p> <p>児玉 理恵：小・中学校PTA</p> <p>白石 一郎：麻布大学</p> <p>加瀬 剛広：大野北第2地域包括支援センター</p>
利用した 主な現状分析データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大野北地区の人口統計、将来人口推計データ</li> <li>○交通事故、犯罪認知件数データ</li> <li>○居住意向アンケート結果データ</li> <li>○世代間交流に関する情報</li> </ul> <p>意義や問題点についての一般的な情報(インターネット情報)</p>

# B班

<分野:地域コミュニティ>

大きな不自由なく日常生活を送ることができる。

16号道路がスムーズに渋滞なく流れる

安全である、必要なもの、医療が受けれる

休日に家族で楽しめる場所がある

**駅 南口⇄北口の移動のしやすさ**

**医療・福祉**

高齢者のサポートが充実している

共助の精神(災害)

小中学校 通学路 電灯 安全

図書館 あたらしく きれいに

近隣の人達との親しい交流がある

商店街の利便性

こどもの登下校の安心安全が確保されている

安心、安全を感じられるまち

大野北地区SDGs

**人と人とのつながりがあるまち**

1km圏内に食料品、生活用品、病院の施設がある

高齢者対応として買い物したものを自宅まで運んでくれる配達版"Uber-Eats"の加盟店が多い

商店街 シャッター通りになっているところ アート 明るく

人と人とのつながりを実感できる状態

地元産業(雇用)

交通・アクセス

通学路の危険な場所ということが大人(近隣住民、車のドライバー)の目に留まる目印がある

小学生が16号を渡るのに大渋滞があきていることの解消

## B班 「地域コミュニティ」

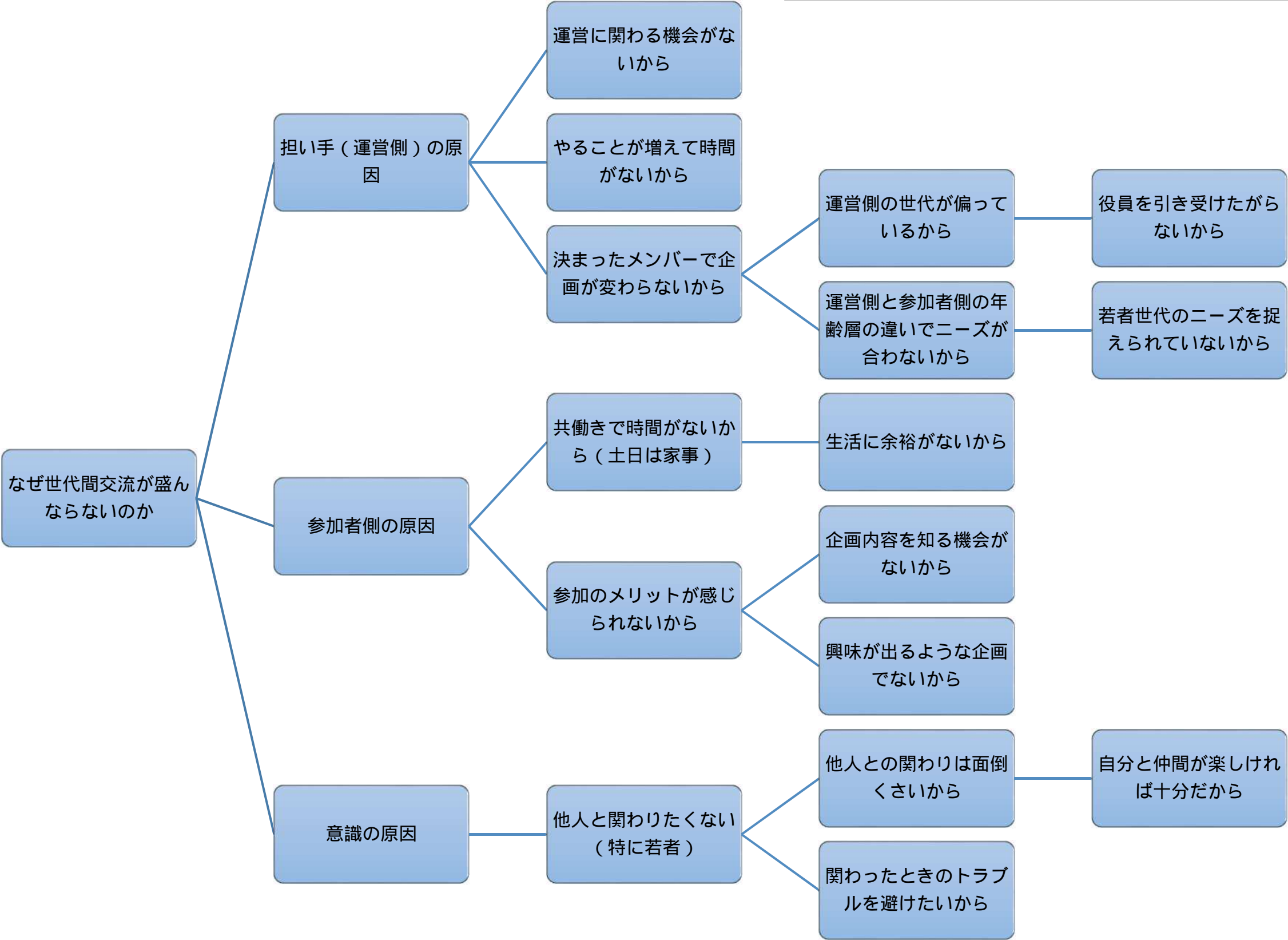
11月24日グループワーク

### < 意見 >

- ・イベント コロナで激減
- ・ラジオ体操
- ・学校が閉じている セキュリティ
- ・老人会 子供会 合同ゲートボール大会 広場がなくなった。
- ・学校と地域のかかわり 学生のパワー 住民の数以上に日中は増える
- ・お祭り 先生を呼ぶのが大変になってきている
- ・世代間交流が活発である 回数 月に1回 倍増させる 参加率を上げる
- ・地域に参加するのがあたりまえの子育て 未来の担い手づくり
- ・自治会 構成年齢の幅 加入率
- ・学校のカリキュラム つめこまれて交流の時間がなくなっている
- ・学校行事 職場体験 施設でのコンサート PTAにシルバーさん呼んで
- ・楽しかった思い出をつくる 地域に参加するメリットを感じさせる
- ・コミュニケーションを生み出すイベント ゴミひろい 体操 川の掃除
- ・非常時における地域コミュニティ参加のメリットを宣伝する
- ・子ども会を子どもの自主的なものに
- ・名称を親しみやすい 入りたくなるもの

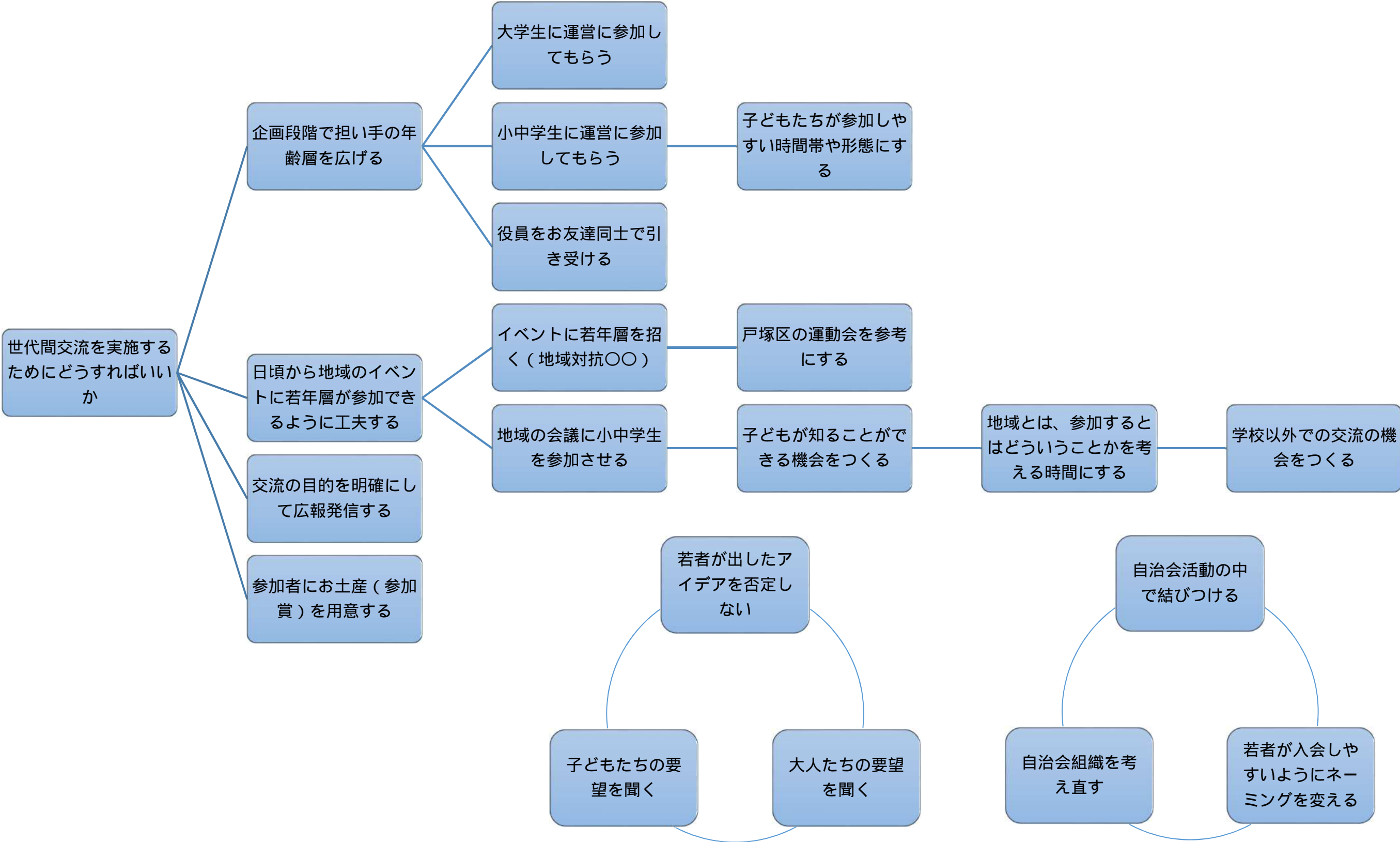
# B班 原因分析(R3.12.21)

あるべき姿：世代間交流で地域が活性化している状態



# B班 課題設定 (R4.1.25)

あるべき姿：世代間交流で地域が活性化している状態







## 地区課題の取組方針について

地域のイベントを知ろう

- ・地域にある世代間交流が行える可能性のあるイベントを見つけよう
- ・イベントに参加しよう。
- ・イベントに参加して世代間交流の状況をチェックしよう。

イベントに参加している年代は

イベントの開催時間は

イベントの開催場所は

イベントの目的は

イベントの対象は

イベントの主催者は

参加世代の拡大できる可能性は？

地域のイベントを分析しよう

委員の皆様がイベントに参加してチェックした結果を集計して現状の  
地域イベントを分析します。

分析した結果を生かそう

## 今年度の地域のイベントリスト

6月24日～26日	第41回 公民館まつり
8月6日～7日	第34回 大野北銀河まつり
9月11日	公民館こどもまつり
10月	交通安全ゲートボール大会
	桜美林大学学園祭
	青山学院大学学園祭
10月16日	大野北市民まつり
11月	麻布大学学園祭
3月	鹿沼公園さくらまつり